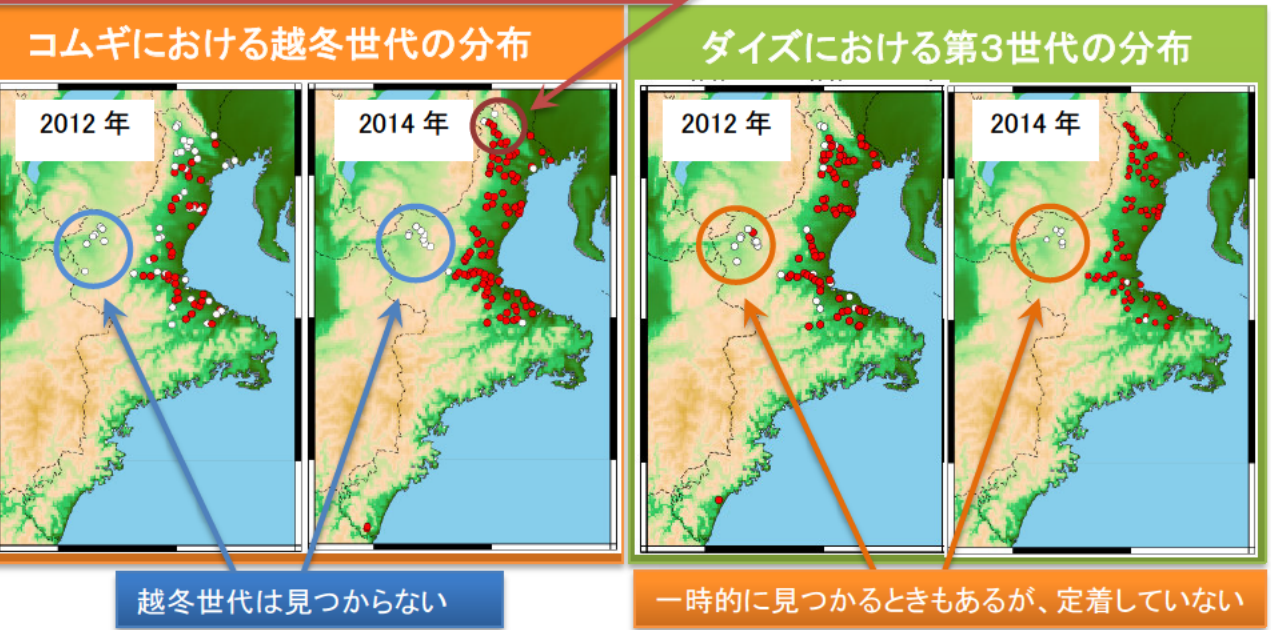


**ミナミアオカメムシは三重県の農業地域のほとんどで越冬でき、定着する可能性がある**

- ミナミアオカメムシは、三重県内で分布拡大している水稲や大豆の害虫です。本種の分布拡大には温暖化が影響していると考えられています。
- ミナミアオカメムシの県内分布の変化を把握するために、2012 年～2014 年にコムギで越冬世代、ダイズで越冬前の第 3 世代の分布調査を行いました。
- 2012 年～2014 年に本種の分布は拡大しました。また、2014 年には北勢地域の中山間地域でも越冬世代が確認されており、定着する可能性が懸念されます。
- 伊賀地域では、ミナミアオカメムシが侵入して年によってはダイズで第 3 世代が繁殖することもあります。冬期の気温が低く越冬できないことから、定着は確認されていません。



冬期の気温が低い地域なのに定着するかもしれない  
 ● : ミナミアオカメムシの生息が確認された地点  
 ○ : ミナミアオカメムシの生息が確認できなかった地点



三重県内のコムギ、ダイズにおけるミナミアオカメムシの分布地点率の推移

調査年	2012 年		2013 年			2014 年			
	コムギ	ダイズ	コムギ	水稲	ダイズ	コムギ	水稲	ダイズ	
県全域	調査地点数	83	91	100	43	85	104	40	86
	分布地点率(%)	46.3	75.8	55.0	55.8	90.6	87.5	72.5	89.5
伊賀地域	調査地点数	7	10	7	4	10	8	5	8
	分布地点率(%)	0	10.0	0	0	20.0	0	0	0

お問い合わせ先	農産物安全安心研究課	西野 実	電話 0598-42-6360
参考になる資料	三重農研HP : <a href="http://www.mate.pref.mie.lg.jp/marc/KenSeika/index.htm">http://www.mate.pref.mie.lg.jp/marc/KenSeika/index.htm</a>		